

ADVISER

キャリアコンサルタント
村本麗子氏



ビジネスマンスクール東京・札幌の首席講師として年200回以上の授業に登場。公共団体や企業への研修の提供や、企業、経営者、起業家へのコンサルティングや講演など、活動は多岐にわたる。脳科学理論をベースとしたコーチングでは、北海道における第一人者。株式会社ヒト・ラボ代表取締役。

キャリアアドバイザーに聞いた!



転職サリセス への道

ROAD TO "TENSYOKU SUCCESS"
vol.35

U・イターン転職の注意点は?

遠距離での転職活動が必要だったり、就職後も勤務地が現在と遠い土地になるU・イターン転職。通常の転職の場合と比較して、何か気を付けるべき点などはあるのでしょうか?

Uターンにイターン
最近ではJやOも!

故郷から離れて都会で就職したのち、再び故郷へと帰ってくる「Uターン」。故郷から離れた土地へと移住する「イターン」。最近ではそのほかにも、故郷から都会へ出たけれど、故郷に比較的近い場所に戻ってくる「Jターン」、一度Uターンで故郷へ戻ったものの再び都会へと移住する「Oターン」という言葉も使われるようです。

地方と都会、どちらに住むかと考えるとき

- ・住宅事情
- ・通勤事情
- ・自然環境
- ・子育て環境
- ・ライフワークバランスのとりやすさや物価
- など、さまざまな比較ポイントがあります。

自分の人生のなかで何が大切なのか、どんな暮らし方を望んでいるのかを客観的に見つめ直すこと、優先度を明確にすることで、答え

以前に比べてグンと
容易になった遠距離転職

U・イターン転職時の注意点ですが、今の時代は昔に比べて、遠方の情報も得やすいため、それほど特別に気を付けるべき点はないように思います。Web会議などを利用し、現地に行かなくても面接をしてもらえるケースも増えていきますし、遠方への転職がしやすい環境は整う方向にあると言えるでしょう。

こと、知識の拡充や体験の蓄積をするのは人生においてとても有意義です。U・イターンを含め、これまでとは違った世界にも目を向けながら、柔軟かつ広い視野で人生設計をしてみるのも良いことなのではないでしょうか。

面接だけではありません。リモート勤務を認める会社も増えていること、業務委託など働き方が多様化していることなどを考えると、今後はますます「働く場所」に縛られない生き方が可能になっていきます。

従来、都会と地方、それぞれのメリット、デメリットとして考えられていたものも、テクノロジーの進化や社会の変化によって、その差が減りつつあるのです。